



方程式まとめ

商業作品ラフ+未使用ネーム集



(表紙) ↑これが元です。

ラフまとめ本なので表紙をガッツリ描くと中との差が生まれると思って、荒削りの線のまま、更には軽い感じの塗りとなっています。でも意外に悪くない感じ…手抜き感はありませんが。因みに単行本表紙の案の一つでした。キャラは決めています現在の装飾だと維織または夢の中の娘っぽいですね。

奥付

2016.08.21(書店用)

HMA/日吉ハナ

<http://hma.xii.jp/>

印刷所：栄光印刷

*複製・Webへのアップロード行為
・無断転載の一切を禁止します。

*個人的に発行したものであり、
今後商業で設定が変わったりする
場合があります。

はじめまして、またはコンニチハ、日吉ハナです。

今回は、8月6日にGOT様より発売いたします単行本『契と結の方程式』のキャララフ&ボツネームなど纏めた本を作ってみました。「ちぎりとむすびのほつていしき」って読みます(自分もたまに読めないのでメモついでに)

昨年2015冬にも簡易版としてキャラ紹介冊子を出しましたが、その時はとりあえず出ているキャラ全員紹介しておこう的な感じでしたが、今回は『単行本に収録されているキャラ』ということで。単行本に合わせて出すならそうなりますね、ハイ。

一応、とらのあな様/メロンブックス様にて本を買おうと小冊子が付いてきまして(ステマ) そちらにも簡単なラフを載せましたが、それ以外をこさえて参りました。冊子では殆ど載せられなかったもので、こちらでは「わあ、それは隠しておいたほうが良かったんじゃないの?」というもので載せてみようと思います、自分的に。古い絵を見る辛さは相も変わらず。

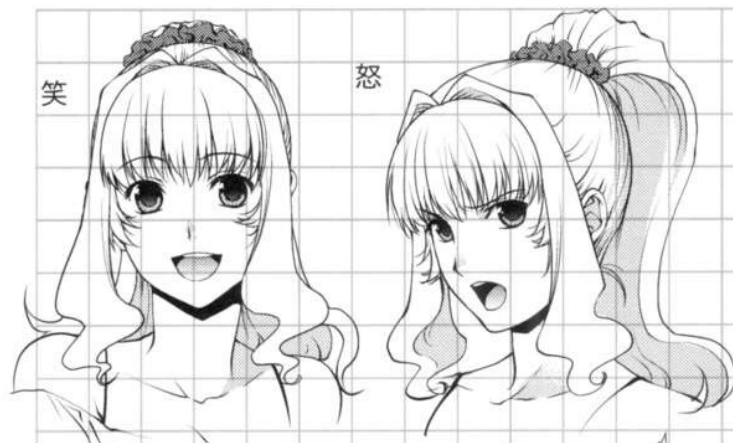
ただ、ひいきしている訳ではないのですが、キャラごとにラフの量に差がありまして。とはいえ、それでページが少なくなるのもなーということで、ボツキャラやそのネームなどの一部を載せてみようと思いました。ちょっとだけ豪華になる、かなあ…。陽の目を見ていないキャラなども、ココに載せることで再び登場させられる可能性もあるかなとか。ボツプロット見ていると「ああ今ならこれ描けるかも」なんてのがチラホラ有ったので。

ちなみに今回単行本に入っていないキャラ寄りのボツネームなどもありましたが、それは次に単行本を出せた時に出してみようと思いますので、是非、今回の単行本を買っていただいて、出版社に「よし次も出してやろう」と思ってもらえるようご協力お願いします(ステマ2回目)。

と、ダラダラ書きましたが、ざっくり、ざっくりとラフ載せていきます。どうぞ暫しのお付き合いを。

日吉ハナ

初期案

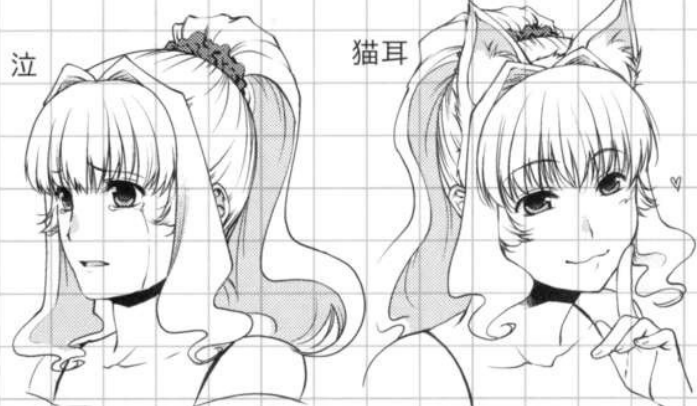


笑

怒

泣

猫耳



困

基本は「笑」「困」で、
「猫耳」顔は一瞬しか
描かない予定です

表情集

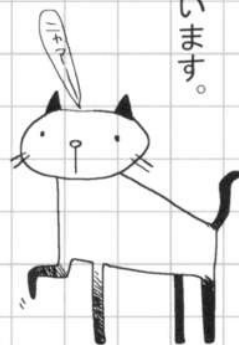


この状態でパイズリ予定なので
服を上下分離させてます

ミニスカのほうが
可愛いでしょ…？

手首のレース+リボンは
そのままの予定です

←手袋はHシーン前に外すと思います。



シャム猫なイメージ

枝莉ちゃんです。掘り起こしたら出て来たと言う感じです。何でも描いていたもんだなーと…。とはいえ古くて恥ずかしいこと…。最初はちゃんと表情集なんてものを作っていたんですね（白目）やった記憶は2回ほど。要らないと判断したのか、面倒臭くなったかはもう迷宮入りですな。

右の猫はこの時に初めて描いたはずです。冗談で描いたものでしたが何か採用になっていました。2011年当時「単行本が出た時、この猫のストラップ作ろう」と担当が言った事をしっかり覚えていますが、あれ、どうなったんですか（素）

（下）ゴスロリ枝莉。

夢兎を出した時に、枝莉も対抗してゴスロリを着る、という提案もあったんですが、なんか知らない間に無くなってました。というのをこの絵を見て思い出しました。むしろ描いていたんだとも…。枝莉の服はその時の流行服を着せるようにしているので、こういう服はめったに描かない分、なんか別のタイミングで描いてあげたいなと思いつつ。



（上）ゴスロリ夢兎。

とにかくコテコテのゴスロリ娘にしたい、中二病炸裂させたい、でもエロ漫画なのでスカート短くとか色々なものを詰め込んでます。そう、エロなのでどうやって服を解体していくかが悩みどころでした。出来ればワンピースのままだいいのだけど、などなど。ここには描いていませんが、いつも抱きしめているウサギは生き物です。

最初はクラシックなメイド服を予定していましたが「エロく無い」とのお叱りの元、あの形となりました。脱ぐんだからココくらいは許せよう！と思ったのですが、まあその…。

無口で、喋っても男っポイのがいいなーと思っていましたが、夢兎には丁寧語になっていたのに、線引きが難しいことに。

最初は髪を下ろしていたようです。気の強い女性というイメージ。



長身でロングスカートが似合う女性が描きたかったのです。足長くないとロングスカート似合いませんので。なのにヒールありのブーツを履くのでもう180cmは越えてそう。

ボツネームです（右）
単行本で言う所のP107の
ところ。内容を2ペー
ジ分に分割した為この形は
無くなったっポイです（推
測するに）

可愛い助手が描きたかった
んですね。担当さんの中
ではこの話は「無し」の扱い
だったようですが、一定の
人気が取れたらしく「こう
いうのが好きな客層もいる
んだね」という失礼極まり
ない発言をされたことを覚
えています。よく揉めまし
たこのネーム。

特に泣くシーンが戦いでし
たね…何度描いても気に入
らないといわれてハゲあが
るかと思いましたが、結果
的に何度も直したことによ
って、読者さんが好きと思
ってもらえるものが描けた
ので良かったと思っています。
もっと夫婦愛表現した
かったな…。



ドSモード



ラフ（左）

縦長でしたがちょっと横に配置。手袋は短いほうが可愛いのではという提案のラフですね。もっとデザイン性のある手袋に出来ればよかったのですが、と…。

維織のお針子設定は、これの二つ前に描いた「楔のケモノ」で裁縫設定が出てきたので、それに関係させようと何度も交渉しましたがその都度担当さんに「そんなに無理矢理キャラと世界観つなげなくても」とその都度言われたので現在の形で止まっていますが、隙あらば神様話で出したいと思っています。

維織です。

初期案ではおっとり二つ結びのあまり目立たない地味子だったんですね。先にエグゼ表紙を描いていたこともありソコからのキャラ作りだったので、いやあ、まあその…と。難産でしたね。黒髪にしたいとか、あまり喋らない子がいいとか、揉めたもめた…。もう初期の作業の記憶が無いです。気付いたら季節が2つ変わってました。

因みに「維織と神様話の主人公は元々バイト先の知り合いで、テラーである主人公と神様話の主人公は師弟関係」という繋がりでした。（ちょっとややこしいので機会があれば図説したい所）なので最新の神様話のプロット時に「電話でこの二人と会話する」というシーンを書いたのですがごとくとく没にされました。覚えてろよ俺は描く。

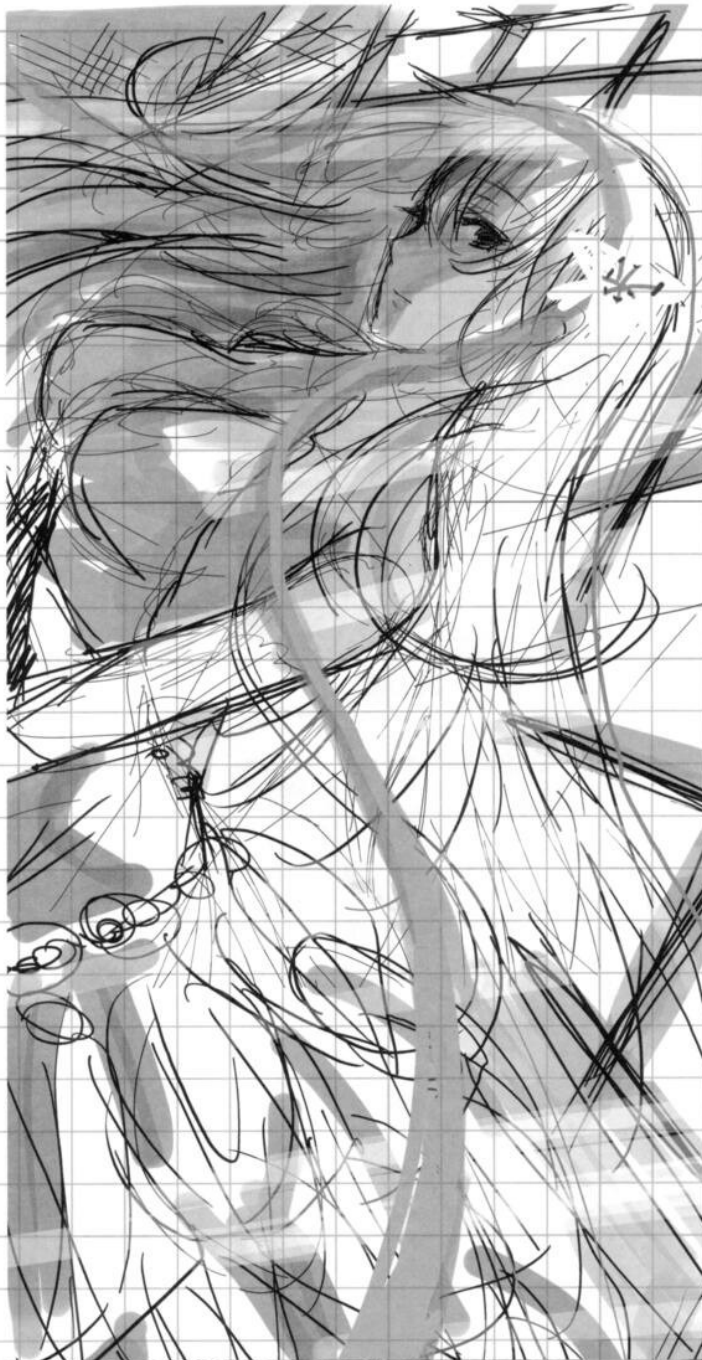


夢の中の娘、という設定で描いたものです。カラーで観音開きという、未だかつてやったことの無いでかいキャンバスに描くということで、かなりの抵抗と試行錯誤があったのでした。

初期案（右）場所が無いので縦で…。逆光がいいという提案で描いたラフです。ただし逆光だとキャラの顔が陰になってしまって台無し、勿体無いとのことでボツになってます。このシーンは初めて夢の中の娘の顔が見えるというシーンなので、ギリギリまだこの段階では逆光で見えていなくても良いのではと思ったのですが、何かダメだったようです。

決定前案（下）

マンガの知識として「ノドは内、小口側は外」というものがあり、右綴じ見開きの場合、右側が内、左側が外となるので、この絵は右から左へ流れる視線を狙って描いたものでした。顔を見てもらって、髪の毛、赤い糸を目で辿ってもらうという。ですが完成版は反転しています。すると前後の立ち位置が合わなくなりまして。反転効果は「主人公が幻を見たようなシーンだから左右逆に見えている」と言い訳を考えましたが、「そんな所誰も考えないって」の一言でお蔵入り設定です。ちなみに完成版はドアを開けて流れる赤い糸を辿ってヒロインの顔にたどり着くように頑張って描きました。好評のようで嬉しかったです！



(下) 彩華の話の時に描いたものだったよ
うな…記憶が曖昧。裸聴診器はいつか描い
て見たいですね…実際は冷たくて常に鳥肌
たつてそう。



(上) ポツネームの時に描いていたデザインです。ひょんなことで猫だか狼だかになるというお話でした。



(上)

立ち絵を描いた後に、何となく気まぐれで描いたラフ絵を提出した所、好評だったようです。今と違って大分幼い感じ。肌塗りの練習がてらとかだったような。

(下) 前ページ右側の立ち絵の別絵です。下にあるとおり「パーツわけ」とありますが元々カラーだったんですね。

因みにキャラ設定とはいえペン入れ+トーン張りする余裕が無く、せめてパーツ分けで解りやすくというつもりでカラーのまま提出したら「カラー漫画じゃないんだからカラーで塗ってくる必要は無い」と怒られた記憶があります。締め切りまで時間なくしたのはどっちだコノヤロウ。そのくせ後日「配色考えておいて」「髪は金髪じゃないの?」と言われる始末。解せぬ。



パーツおけると
こうなります。
1.ス部分などは害(愛)。ちじょ。

彩華です。とにかく脱ぐ動作を色っぽく
ということで、脱ぐシーンばかりラクガ
キしていた頃の産物です。これも前ペー
ジ同様、カラーで色分けをして解りやす
くしておいたものです。前回あのように
言われたので、カラーになったこの絵は
確か提出しなかったはず。
最大限の抵抗、しかし無力でしたが。

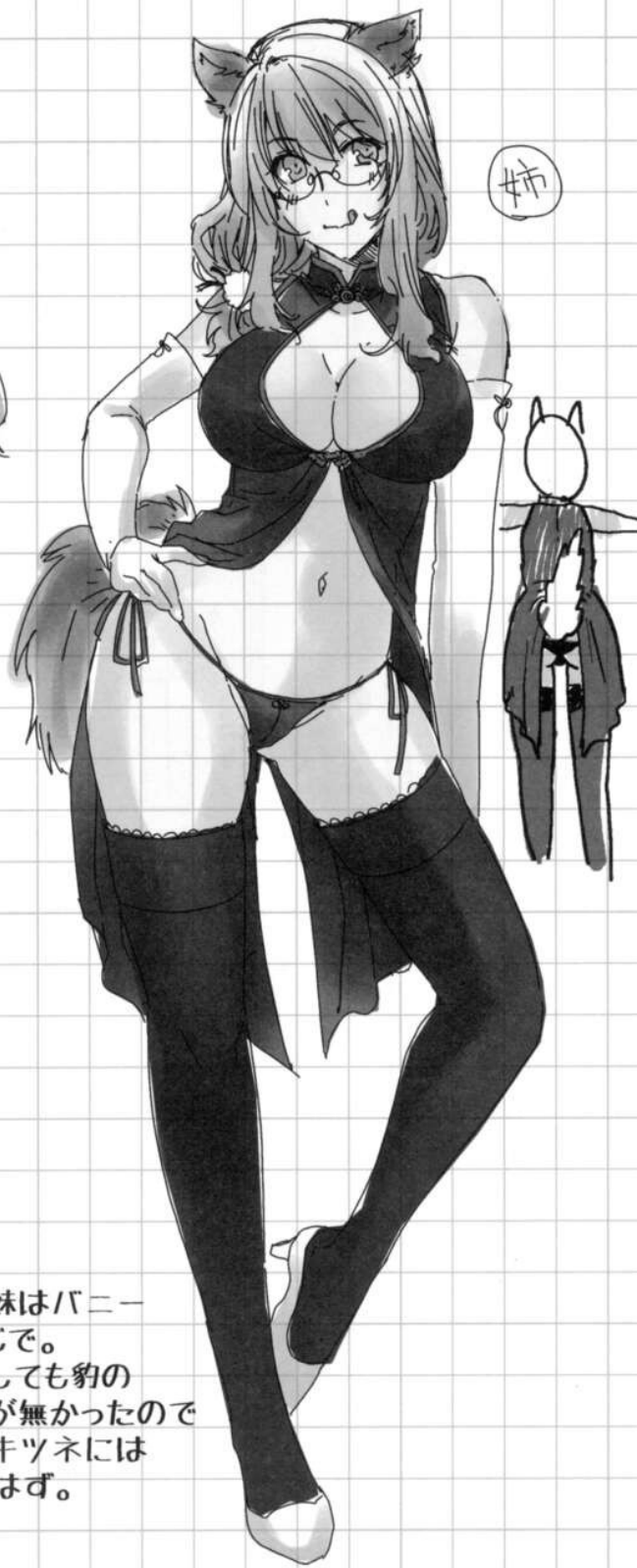




(左)お風呂上り彩華。「白衣とアレ」の時のですね。お風呂上りと言うシーンを用意していたんだったような…いや、酒缶持っているから酔っ払うと荒れる設定の為のものだったか…。

(上)ボツ漫画の1ページです。実は助手のお話は彩華用のものとしても描いていたんですね。その時のものです。なんとしても姉を出したい、ということでこんな内容になってますが、実際はボツなので、まあ、その…ボツ。

バニー&狼。『妖と艶の』の話を描いた後で、他のキャラもケモノにしたら面白いよね的なことで獣イメージラフを描いていました。このデザインは単行本の書店有償特典クリアポスター用にそれぞれそれとなく形を変えて使っています。姉は肉食系、妹は喰われる系という役割。



姉は狼、妹はバニーという感じで。
姉はどうしても豹のイメージが無かったので狼です。キツネには見えないはず。

Date ボツネーム

ボツネーム一部。横は繋がっていますが上下段は繋がってません。





(上段)

右の説明の通り、3Pものだった時の名残です。P32ありました。途中で投げ出したかと思ったのですが、ちゃんと描いていたようです。とはいえ今見直すと没って良かったなと思う感じだったので、うん、良かった…かな?ある意味貴重なショットともいえるかもしれません。

因みに、神様と彩華がペアだからコッチもペアにしようとかそういうわけではないです。でもなんかそんな感じですよ。また椿も描いてあげたいなと思うのですが、椿の過去話描いていたなと…あの話は何か忘れやすい…。椿の話は収録された単行本が出てからと言うことで。

なお、左にいる男は『妖と艶の』の主人公です。

スペースの都合で前ページのコメントをこのページに纏めてしまっています。見つらくてスイマセン。

(前ページ上段)

以前より「このキャラ誰?」というので枝莉と夢兎がいました。これを解消するべく描いたネームだったのですが、しっかり没ったのでココで供養。ネームの割りにしっかり描き込んでその意気込みを見て取れるのですが、没(何度でも言うよ)単行本が出た今、もういいよね…と。

(前ページ下段)

実は上で書きましたが、登場人物紹介としての漫画では有りますが、本来の目的は椿と彩葉の3Pという幻の原稿でした。この当時、母二人が最強でしょ?という担当との話し合いにより、そのイトコ取りな漫画が描けたらいいだろうという流れで。結果没りましたが。没。元々多人数モノを描き慣れていない事もあり大分難産なネームでした。因みにこのあともう1本ネーム描いていますがそれも没っています。そのネームはどちらかと言うと椿寄りだったので今回載せていません。一応枝莉と関係が有る設定なんですけど…こうやって話がややこしくなると言う。因みに神様設定の土台になるキャラです。



彩華（右）

特典冊子には右側のショートヘアは載せていません。のでココで。入らなかったのですが。ショートキャラは一度も出したことが無いので、ここで使うか！と思ったのですが、結果イメージが違うということで左のが最終案です。特典冊子にはジャージ+ブルマや割烹着姿がありますぜ（ステマ）



彩葉（左）

特典冊子にすら入れていない姉。姉は昔から人気者で学内ミスコンで優勝しているとかそういうイメージのものだった気がします。なんか胸ちっちゃいのはラフだからであり学生の時は胸が小さかったなんて設定は許してもらえません。ちなみに眼鏡は本来かけていませんが、詳しくは単行本で。

案01



案01b



案02



案03



個人的に好きな花嫁さんは、Aラインやマーメイドなどのスラっとしたドレスに背中がぐあっと開いていて、ブーケはカラー（花の名前）がいいと思っています。そのように担当にお伝えしましたが、やはり雑誌の顔と考えると弱いののでカクテルドレスの、いわゆるお姫様風になりました。花を描くのが苦手なので、薔薇はカンベンと言ったのですが、花嫁さんには不可欠でした…うぐう…

まだまだ続くよ没表紙。実は表紙は数回描いています。何かカッコリ来なかったのでしょうか担当的に。とはいえ、何度も描くことで、少しづつですが私もカラーの苦手意識が薄れていき「自分の塗りって面倒臭い」まで学ぶことが出来ました。もっと効率のいい塗り方に進みたいです。

No.

20

Date

ボツ色々



19ページの案bで決定ということで進めていたものがこちらです。実は完成まで持っていたのですが「やっぱり何か違うよね」ということでお蔵入りです。というより修正するたびに納得の行かない絵になって行ったので私自身が「お蔵入り」宣言を出させて頂きました。これそのまま通っていたら見られない表紙となっていたと思います、私が。



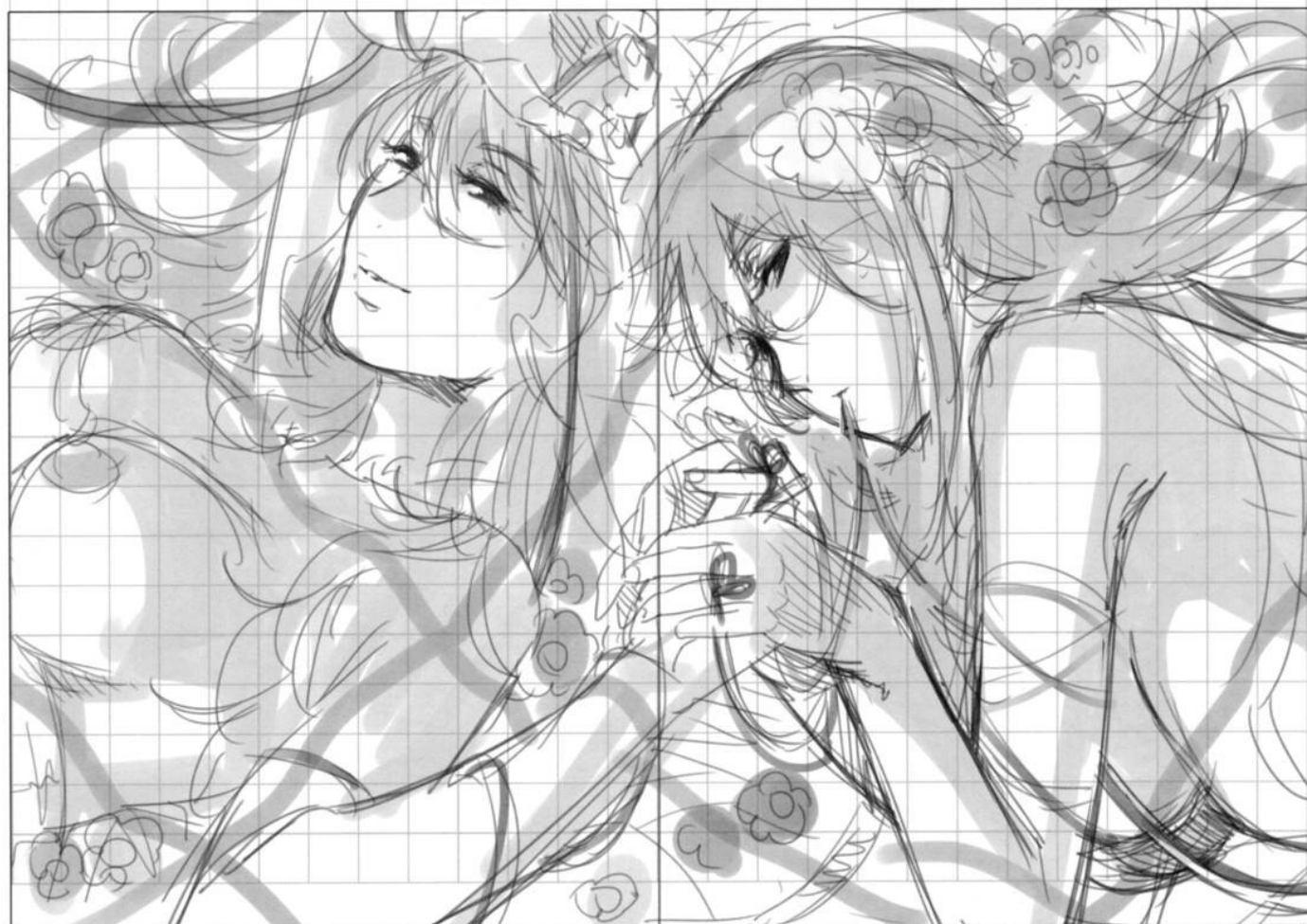
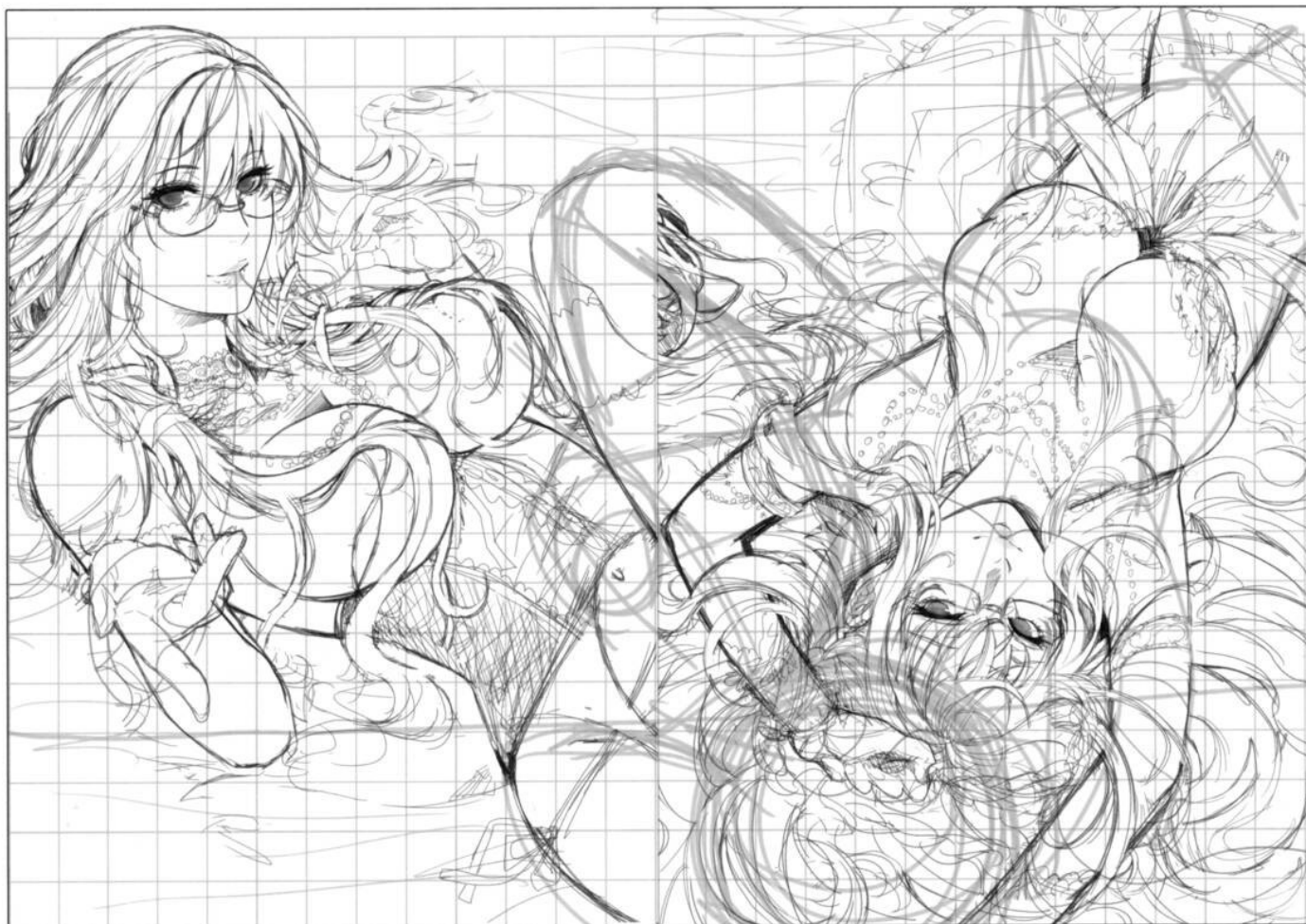
こっちは単行本表紙案です。これも難産でした。難産以外の言葉が思いつかない…。
双子にしよう、繋ぎ絵にしよう、など色々盛り込んだことが難産の元でした。
上段の彩葉は書店有償特典ポスターに再利用されていきました。
下段は、なんか彩華が弱いとか何とか言われて没になりました。それどころかエロく
ないという…いや、これには訳がありまして…まあその。とりあえず没。

No.

22

Date

ボツ/色々

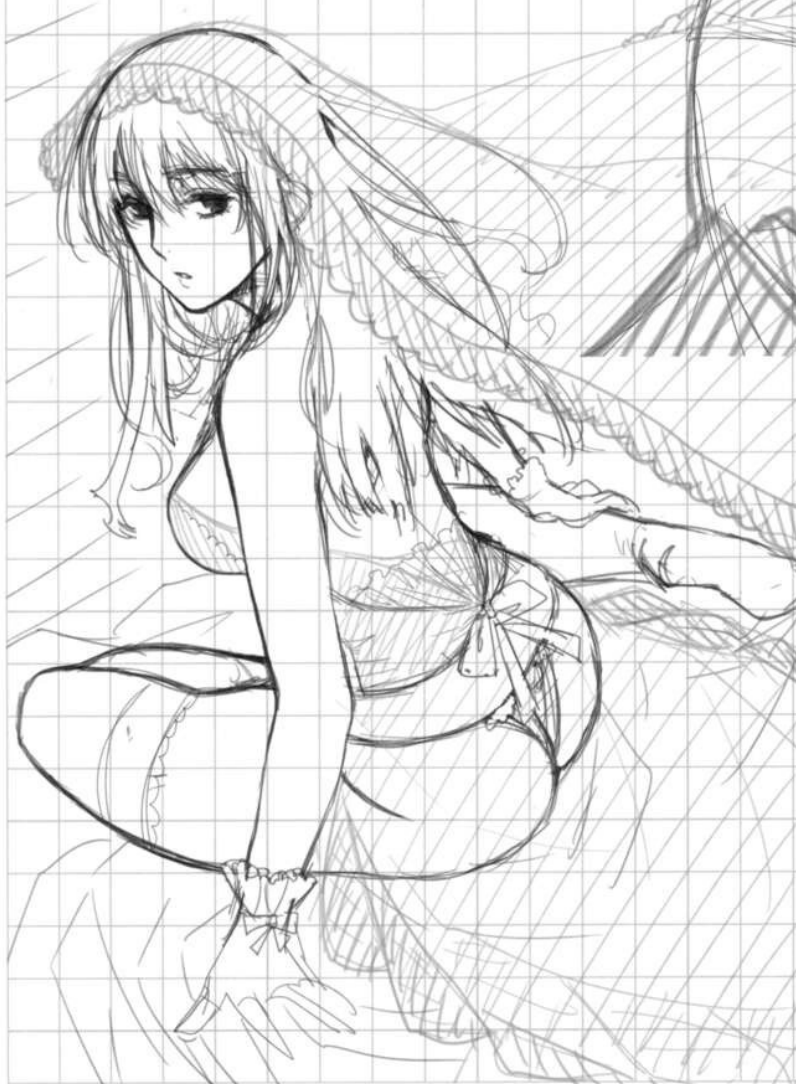


(右) 今回の単行本、中扉が凄い豪華仕様でして「カラー絵の前にトレペで、しかもそのトレペに印刷」というものでした。なので、最大限綺麗に見える方法は無いだろうかと葛藤したのを覚えています。

トレペなので後に来るカラー絵が透けて見えるのです。ソコに不透明のインクをのせるというもので…いやこれ凄お金かかっていますよ、申し訳ない…。

で、トレペ単品で見ても綺麗なものが良いと考え、考え抜いて、あの形となりました。

で、右の絵ですが、グレーっぽいところにインクが乗るようにしようと思ったのですが、細か過ぎて挫折しました。あと綺麗じゃない。



(左) 表紙やその他の部分で双子や維織を出しまくったんだ、中扉くらいは好きに描かせて貰うぜ！ってことで、レース栄える夢兎をチョイスするも、なんか結局没られたんですわ。や、今見直すと没でよかったと思いますが。そうなんです、双子ばかりカラーで描いているのには訳がありまして「他のキャラ、人気あるの？」という心無い発言をされまして。売れる為といわれたらそこまでですが、どのキャラも沢山考え抜いて生まれたキャラなので、どこかでカラー化してもいいじゃない！と。同人でやりますわ…くそう。

このページから陽の目を見ていないボツを。ゼロス2周年の予告カットで描いていたキャラです（そして落としました…申し訳ありません）この時も大揉めでした。ハゲ落ちた。心が死んだ。そんな思い出。

No.

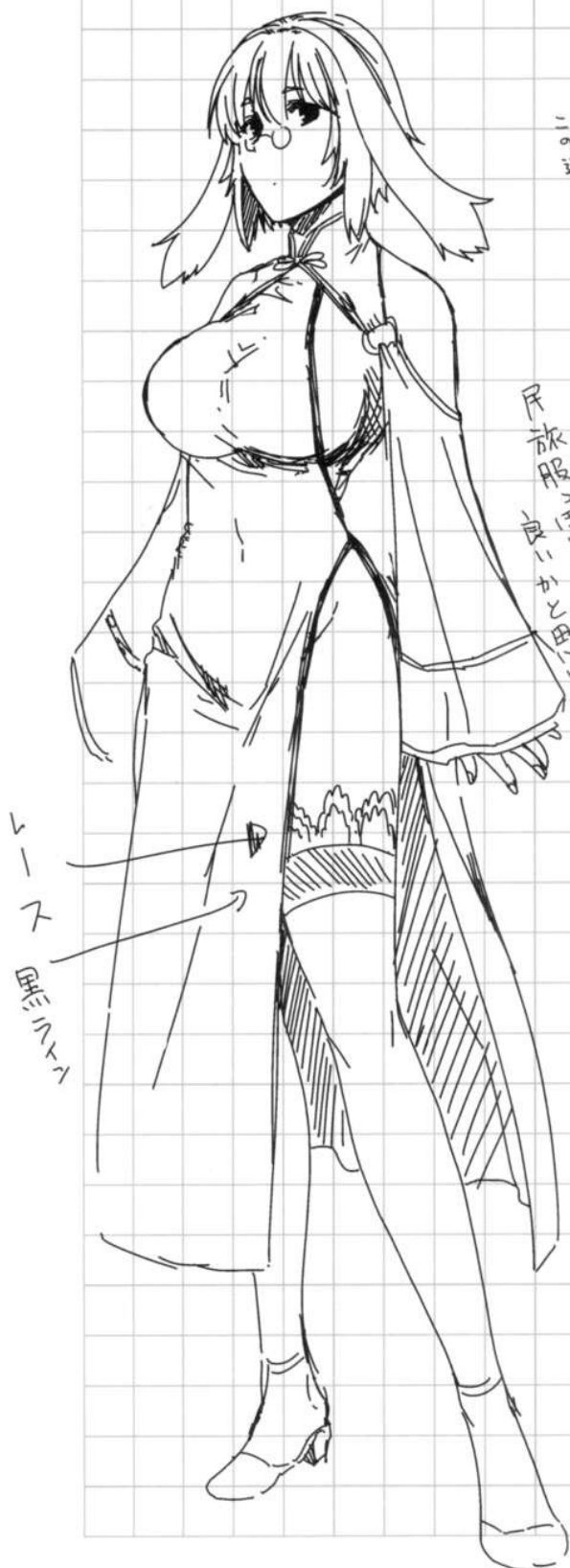
24

Date

ボツ色々

結局名前は決まらず、なキャラです。

なんかチャイナ服エロイからソレにしようとか
なんかそんな感じのノリだった記憶が。いくつ
かデザインしたのですが、ほぼ決定案のをペタ
リ。因みに下の表情集が描いて一番楽しかった
思い出。まあそうですね、下書きが要りませ
んので。髪の毛で喜怒哀楽表現できるのって
いいですね。



不思議な髪型も
イロハな——っ。o
← 右の方はショートヘア+サバサバ

↑ うけがの耳っぱいかんじ

↓
バーガールも
有りかとか
考えるわけです。

↑ ガン元が
そもそも
O.P.イ——です



月の民 ども

昔からあんなに
思っただけですよ...

椿とちがった
人じゃあ、生物...

なんか尻を出そうと言われ
た思い出。そんな服だと構
造上ムリですよ！とよく揉
めます。

「ソコは二次元だろ！何と
かしなさいよ！」といわれ
「バカ言え、描くのは自分
だ！自分が服の構造わかっ
てなければ脱がせられない
しプレイ内容も考えられな
いだろ！」と答えること多
数...いやほぼ毎回。複雑な
構造を形にするコスプレ
ヤーさんたちを崇めよ。

リスト
黒いハート

民族服っぽいのを
良かんと思ってる

↑
かろつこ
のEロイキャライ

↓ どうせすぐ脱ぐし



いい感じにスペース余りましたので締め言葉と言う名の駄文を少々。

いかがでしたでしょうか。物によってはツイッターにあげた絵などありましたが、ソレはきっと幻です（白目）ほぼ9割は初モノだったはず。でももしかしてネットにあげていたことすら忘れてここに載せているものもあるかもしれません。スイマセン。

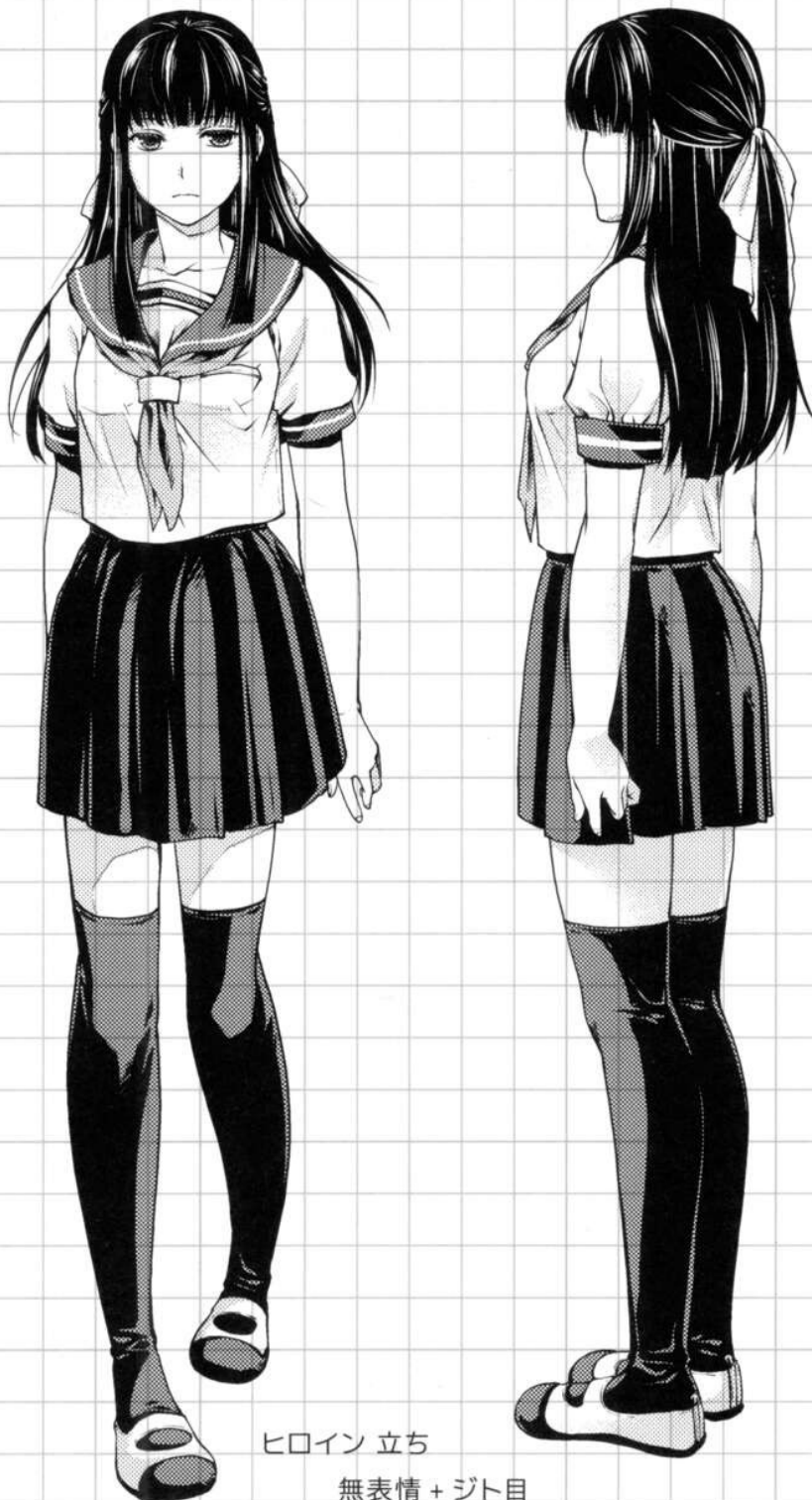
彩葉ページでも書きましたが、小春ページが無いのが申し訳ないところです…どこをどう探してもネームと完成原稿しか見当たらず、恐らくネーム描きながらキャラを煮詰めていったんだと思います。とはいえ、特典冊子や単行本書下ろしでちょろちょろ描いたので、ソレはそれで見てくださいと嬉しいです。

書店冊子ではラフをちょろちょろしか出せなかったで、ココまでガッツリ出せるとこれはこれで読み応え有っていいかなーと思います。殆どラフとコメントだけのスラスカ本ですが。自分の確認用にもなるなーという意味では、一つの記録として。

これにて「方程式」シリーズは一旦締めるわけですが別にこれで完結というわけではなく「これ以上方程式名義の漫画描いたら単行本に収まらないだろ！」ってことだったので。また「方程式」ものを描くかもしれません。基本的には彩葉たちが方程式、椿&神様たちをケモノシリーズとして分けていましたが、なんかもうごちゃごちゃで…タイトル決めるのは本当に苦手です。

とそんな感じで。最後になりましたが、改めまして、担当さん、デザイナーさん、出版社さん、そして読んで下さっているそこのアナタ！有難う御座いました！今後もどうぞ御鼻屑に！ではまた次の単行本発行後に！

日吉 ハナ



後ろはリボンで留め

ヒロイン 立ち

無表情 + ジト目

（上）枝莉の話と同時に提出して没になったネームのキャラです。これが一番忘れていて記憶が無い。当時コンビ二誌（ビースト）で高校生未満は駄目と言われていたので、書店売りのこっち（コミメガ）で描くか！と意気込んだものの、なんか忘れられるくらいのキャラと相成りました。内容は「旧校舎の七不思議に『卒業部』がある」なものでした。プロットを読み返したら案外面白かったので、機会があったら描いて見たいです。



HMA2016 HanaHiyoshi PRESENTS

『猫と私の方程式』

『彼と妹の方程式』

『助手とメイドの方程式』

『愛とパン屋と片思い』

『白衣と双子の方程式』

『白衣とアレの方程式』

『普日のケモノ』

未使用ネーム etc...